

合唱コンクールが行われました

6月9日（土）、中学3学年による合唱コンクールが行われました。クラスごとに練習を重ね、課題曲と自由曲を見事に歌い上げました。練習期間は短いものの、クラスの団結を強めるいい機会になっていたようです。時にはぶつかりあいながらも、グランプリ受賞に向けて一丸となろうとする姿が頼もしく感じられました。

このコンクールは、中学3年生の実行委員を中心に生徒の手によって運営されています。今回は、最後の合唱コンクールとなった中学3年の生徒の感想を一部ご紹介します。



私は洗足の行事の中で合唱コンクールが一番好きです。私は普段、何かの実行委員や学級委員などに興味を持って踏み出す勇気がなくて何もできずに終わってしまい、後悔することが多いです。でも合唱コンは特にクラスを団結させるすごい力を持っていると思い、中1、中2と2年間指揮者をやりました。今年は最後に責任が重い気がして指揮者には立候補できませんでした。でも、パートリーダーが足りなくて、すぐには手を挙げられなかったけれど、去年はアルトの音取りが大変だったことを思い出し、やってみることにしました。

練習1日目、13:30からは自由だよと言ったらみんな帰ってしまい、ちょっと悲しかったし、他のクラスが練習しているのを見て、これで大丈夫なのか？と心配になりました。残った合唱委員や指揮者、伴奏者、パートリーダーもネガティブになっていき、不安は募るばかりでした。

練習していくうちに、私は一人一人に役割があることに気がつきました。面白い子はみんなを笑顔にさせ練習を楽しいと思ってもらえるようにすること、静かな子はみんながヒートアップしすぎて悪い方向に行きそうになったとき冷静にすること、音程が分かる子は音が違う子がいたら教えてあげたりピアノがないときも最初の音を合わせたりすること、まとめるのが上手い子は全体練習でもちゃんと声をかけ合い、練習をスムーズに進めること…など、何か役職があるわけではない人もみんながそれぞれの良いところをクラスのために活かしている姿を見て、私がクラスのためにできるのはどんなことか？と考えました。考えた末、私はパートリーダーとしてアルトをまとめることに加え、合唱委員や指揮者、伴奏者、パートリーダーなどの役職がある人たちがネガティブにならないように、いつも明るくしようと決めました。みんなのことを一生懸命考えて支えている、C組にとってすごく大切な人たちの心は誰が支えるんだ？と思ったからです。私は普段から何も考えてないように見える(らしい)しすごくマイペースと言われるので、時には何でこんなに危機感がないの？と思われたかもしれませんが、ポジティブ発言をすることがわたしにできることだと思いました。

音楽の授業で言われたことを参考にしながら練習していくうちに、去年との完成度の違いに驚き、自分たちの成長を感じることもありました。でもそれはどのクラスも同じことで、悩むことも本当に本当にたくさんありました。時には人を憎んだり恨んだりするような自分の嫌な心が出てきたり、パートリーダーのくせに寝坊したりと、自分が嫌いになるようなことが何度もありました。それでもみんなで歌を歌っていると、グランプリを取りたい、みんなで最高の思い出にしたいという思いがどんどん大きくなっていき、頑張り続けることができました。特に自由曲の思い出がいっぱいを歌っている時間は本当に本当に楽しかったです。全員が声を出して歌うC組のカラーが出ている気がしてすごく嬉しかったです。

本番前日、外から帰ってきて合わせたときは本当にそれまでが一番いい歌になったと思いました。私がアルトの人にうるさいほど言っていた「とけいのおと一きに一している」の音程も本当にぴったりそろって、歌っている時に感動して思わず笑顔で頷いてしまいました。

いよいよ本番、朝になると黒板に一人一人の名前をみんなで書きあっていました。私の名前は最初なかったけれど、途中で書いてくれている子を見て、すごくすごく嬉しかったです。パートリーダーとして少しでも誰かの役に立ていたら、やった意味があったなと思いました。私自身も、たくさんのことが学べて、みんなと歌えて、やりがいのある最高の仕事だったと思っています。

結果は残念だったけれど、本当に楽しい合唱コンクールでした。私はみんなが頑張ってくれたのに負けてしまってすごく悔しかったけれど、みんなが笑顔なのを見て、さすがだなと思いました。みんなが思い出で終わろうとしているんだなと感じて、そこがC組のいいところだなと気づきました。

人生最後の合唱コン、最高でした！みんなありがとう。

今日は一生忘れない最高の最後の合唱コンクールになりました。

私は中1の時の合唱コンクールが楽しかったのと、実行委員長先輩の言葉に惹かれて、私も合唱コンクールを作る側に立ちたいと思い実行委員になりました。当時の中3の先輩が的確に指示を出してくださりと、私達はそれについていだけで合唱コンクールが終わってしまって行事は意外と簡単に出来るものなのかな、と後悔してしまいました。

でもそんな何でも把握している完璧な先輩の姿に憧れて、来年は実行委員を引っ張っていく立場になりたいと思いました。

今年の3月下旬。実行委員長、副実行委員長決めがあって合唱コンクールに向けて動き始めました。最初は実行委員長に立候補しましたが選ばれなくて結局、副実行委員長の選挙で選んでもらえて副実行委員長になりました。スピーチで『実行委員長を支えて一緒に実行委員会を引っ張って合唱コンを成功させる』と宣言したので実行委員長を支えて、むしろリードするくらいの気持ちでいこうと思いました。

ですが、初めは合唱コンの完成形が全く見えないのにやらなければならない事が沢山回ってきて何から手をつければいいのか分かりませんでした。全体を把握できていなかったり、計画通り行かなかったりして実行委員会がぐだぐだでみんなに迷惑をかけてしまってダメダメな副実行委員長で本当に申し訳なかったです。約750人を動かす行事で自分達がしっかりしないと成り立たない本当に責任の重い仕事だと改めて感じました。大変なこともありました、でも途中で辞めたくなくなったかといえばそんなことは全然なくて、むしろ楽しい気持ちの方が大きかったです。きっとそう思うことが出来たのは思い通りに行かなくて落ちこんでいた時もクラスのみんなや友達が『頑張ってるね』『お疲れ様』と声をかけてくれたからだだと思います。みんなありがとう！

そしてあつという間に迎えた本番。開会の言葉は緊張しすぎて記憶にほとんどありませんが自分の呼び掛けに対してみんなが答えてくれて嬉しかったです。終わった後先生や友達に『良かった』と言ってもらえて安心しました。中1の合唱が始まって、今日で合唱コンが終わってしまうということに寂しさを感じました。でも今日の成功の為に3ヶ月弱頑張って準備してきたと思って、悔いの残らないようにしようと思いました。E組の出番は指揮者の2人が笑ってくれていたから楽しんで歌うことが出来ました。練習には実行委員でなかなか行けなかったけれど、録音したのを家に帰って聞いたらどンドン上達していて感動しました。幹部のみんなが頑張ってくれたおかげだと思います。本当にありがとう！結果発表は怖かったけれど『学年賞はE組です』と言われた時は嬉しくて舞台袖で叫んでいつの間にか泣いて笑っていました。そしてグランプリもとることができて本当に嬉しかったです。E組のみんなが合唱委員の2人に『大好きーっ』って叫んでいて私も叫びたかったな、って思っていました！

そして実行委員長の開会の言葉。実行委員長の言葉で本当に今まで色々なことがあったと思い出したし、合唱コンが終わってしまう寂しさもあったし、無事終わってほっとしている気持ちもあって複雑でした。でも実行委員のみんなが最後に前田ホールの舞台に立てて最高でした。このメンバーで今日まで頑張ってきて良かった、副実行委員長をやって良かったと心から思うことができました。合唱コンが終わった後、感謝したいのは私の方なのにクラスのみんながサプライズをしてくれたり、実行委員のみんなから寄せ書きを貰ったりしてびっくりしたけれど嬉しかったです。家に帰ってからみんなからのメッセージを読んだら『実行委員のおかげ』とか『合唱コンは実行委員がいないと出来ない』とか書いてあってもう涙が止まりませんでした。こんな優しい友達に囲まれて私はすごい幸せだと思います。

最後になりますが、本当に沢山の人の支えられて合唱コンクールを開催することが出来ました。毎日のように指導して下さった矢野先生、蕪木先生をはじめとする先生方、実行委員長を中心に一緒に頑張ってきた実行委員のみんな、クラスのことあるのに当日シフトに入ってくれた合唱委員、そして優しすぎる大好きなE組のみんなといつも声をかけて下さった伊藤先生、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！今年度の合唱コンクールが沢山の人の良い思い出になっていたらいいなと思います。